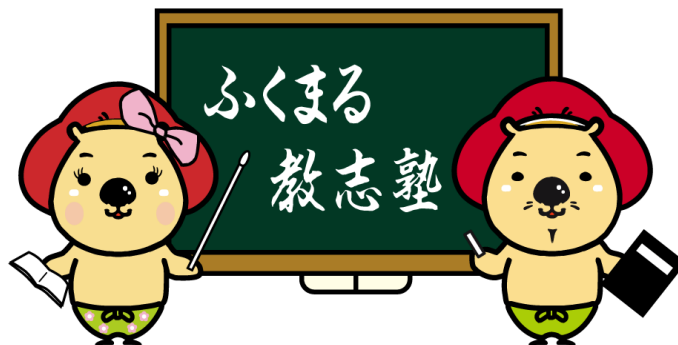


第6回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 9月16日(金) 18:00~20:00

場 所 市庁舎7階大会議室

内 容 人権教育について

「子どもの見えないランドセル」

講師 奥田 雄大 先生 (池田市人権教育研究協議会事務局長)



9月16日18時、10名の塾生が出席し、第6回ふくまる夢たまごセミナーが始まりました。

最初に、梶田指導主事より今回から参加する2名の塾生が紹介されました。2名とも、緊張しながらも、「このセミナーで塾生の方とともに学んでいきたい」と笑顔で挨拶していました。

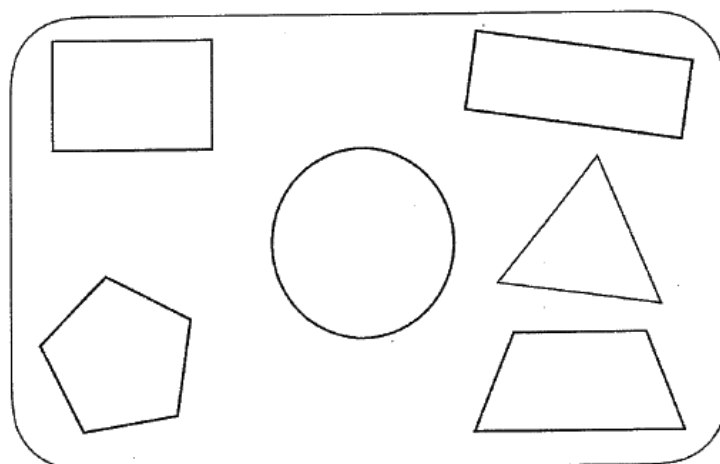
◇アイデンティティの細胞

アイデンティティとは・・・「これこそ自分」と思える自分の特性についての自覚

①どのような社会的集団に属するか

②趣味や性格特性がどのようなものか、生活に関わること

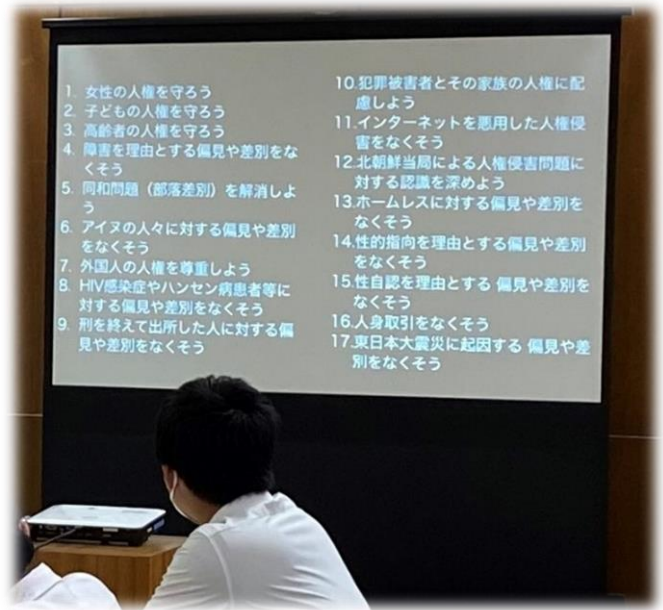
次に、講師としてお招きした奥田先生から「ほんとう・ほんとう・ほんとう？」と題したアイスブレイクや、6個の図形の中に「これぞ自分」と思える事柄を書く「アイデンティティの





細胞」というワーク 1 を行っていただきました。「自分が何者であるか」を考えることにより「人権とは何か」に迫り、これを踏まえたうえで、17の個別の人権課題を考えました。

ワーク 2 では、奥田先生から「ことばカード」が提示され、塾生は、ことばカードの言葉が、誰かの存在を無視・否定したり、場の多様性を損なったりしていないかを話し合いました。



(保健の教科書を読んで)
「思春期になると
誰もが異性に興味を
持つようになります」

このプリント、
大事なやつだから
お母さんに忘れず
渡すようにな。



最後に奥田先生から、人権とは、一人ひとりが人間として大切にされ、生きていくために、なくてはならないものであり、人権教育とは、「人権をめざす教育」「人権としての教育」「人権に関する教育」「人権を通しての教育」の4つの側面があり、人権について教え、人権尊重の価値観、態度を育て、行動へと向かわせるための総合的な教育活動であると話されました。

<塾生の感想から>

○ 自分だけではわからないことも、グループディスカッションで考えを深めることが人権教育においても大切であると改めて感じました。

○ 子どもの見えている部分はほんのわずかで、見えない部分がたくさんあることを知り、まず、見ようとするところから始めていきたいです。